

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年7月4日(2024.7.4)

【公開番号】特開2023-2391(P2023-2391A)

【公開日】令和5年1月10日(2023.1.10)

【年通号数】公開公報(特許)2023-004

【出願番号】特願2021-103604(P2021-103604)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和6年6月26日(2024.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

当り遊技に関する抽選を行う抽選手段と、

前記抽選手段による抽選の契機となる遊技球の入球が可能な特定始動口と、

前記抽選に関する情報を所定の限度数まで記憶可能な記憶手段と、

前記特定始動口への入球に基づいて計数値を更新する計数手段と、

前記計数値が特定値になることに基づいて通常の遊技状態とは異なる特定状態に変更可能とされ、

前記計数値は、前記特定始動口に入球した場合に前記特定値に近づくように更新可能とされるだけでなく、前記特定始動口とは異なる非始動口に入球した場合にも前記特定値に近づくように更新可能とされ、

所定時間内において、前記特定始動口に連続して入球した場合よりも、前記非始動口に連続して入球した場合の方が、前記計数値が前記特定値に近づくように更新される際の前記所定時間内における前記計数値の最大変化量が大きい

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

40

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、

当り遊技に関する抽選を行う抽選手段と、

前記抽選手段による抽選の契機となる遊技球の入球が可能な特定始動口と、

前記抽選に関する情報を所定の限度数まで記憶可能な記憶手段と、

前記特定始動口への入球に基づいて計数値を更新する計数手段と、

前記計数値が特定値になることに基づいて通常の遊技状態とは異なる特定状態に変更可能とされ、

前記計数値は、前記特定始動口に入球した場合に前記特定値に近づくように更新可能と

50

されるだけでなく、前記特定始動口とは異なる非始動口に入球した場合にも前記特定値に近づくように更新可能とされ、

所定時間内において、前記特定始動口に連続して入球した場合よりも、前記非始動口に連続して入球した場合の方が、前記計数値が前記特定値に近づくように更新される際の前記所定時間内における前記計数値の最大変化量が大きい

ことを特徴とする。

10

20

30

40

50